

神様は人間だけに霊を下さった。人間だけが祈りが出来る。未信者は神様から離れているから、悪魔と交わり、祈りをするようになる。そうするとますます、悪魔に惑わすようになる。私たちは神様との交わり、祈りを通して生きるように。神様と共にいることが聖徒の特権である。神様が共にいる者は祈りをする事が出来る特権がある。祈る時に大きな答えを受ける。本日の聖書の箇所はイエス様が十字架につけられる前のゲッセマネの祈りである。イエス様がどのような祈りをされたのか。

1.神の栄光のために	2.永遠の命と聖めのために	3. ワンネスのために	メモ
▲イエス様の祈りはまず神様の栄光の為に祈った。 1)ヨハ 17:1(イエスはこれらのことを話してから、目を天に向けて、言われた。「父よ。時が来ました。あなたの子があなたの栄光を現わすために、子の栄光を現わしてください) (1)神様の栄光を現す。 ーイエスキリストの復活により神様の栄光を現された。 (2)父なる神様が高められるほど、神様の子供も高められるようになる。 (3)神様の栄光が高められるように祈る程に神様の答えを受ける。 2)ヨハ 17:4(あなたがわたしに行なわせるためにお与えになったわざを、わたしは成し遂げて、地上であなたの栄光を現わしました) (1)「主の御名が高められますように」、「神様の栄光が現れますように」との祈りが神様が喜ばれる祈りである。 3)ヨハ 17:5(今は、父よ、みそばで、わたしを栄光で輝かせてください。世界が存在する前に、ごいっしょにいて持っていましたあの栄光で輝かせてください) (1)主が共におられて栄光を現れますように。 (2)父と御子が栄光を受けるようにいのるべき。	▲イエス様が聖徒のために祈った。永遠の命が分かりますようにと祈った。 1)ヨハ 17:3(その永遠のいのちとは、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたの遣わされたイエス・キリストとを知る事です) (1)永遠の命を知るとはキリストを信じる事。 (2)人は必ず救われなければいけない。 (3)キリストを知ることが唯一の救いの方 法ーキリストが3つの根本問題を解決をされた(罪、悪魔、神様から離れた問題の解決) (4)福音を信じて救われるー永遠の命を得る。 2)ヨハ 17:15(彼らをこの世から取り去ってくださるようというのではなく、悪い者から守ってくださるようお願いします) (1)救われて終わるだけでなく、信仰を保持出来るよう祈った。 (2)悪い者から守られるように (3)イエス様が祈っているので私たちの信仰は守られている。 3)聖めーヨハ 17:17-19(真理によって彼らを聖別してください。あなたのみことばは真理です。あなたがわたしを世に遣わされたように、わたしも彼らを世に遣わしました。わたしは、彼らのため、わたし自身を聖別します。彼ら自身も真理によって聖別されるためです) (1)御言葉が真理である。 (2)キリストを信じた瞬間に聖められる。 (3)御言葉を聞き続ける時に御言葉を信じてることが出来て聖められる。 (4)御言葉を信じないことが罪 ー悪魔は御言葉を信じないようにさせる。 4)聖徒を遣わすーヨハ 17:18(あなたがわたしを世に遣わされたように、わたしも彼らを世に遣わしました) (1)福音を伝える大使として聖徒を遣わした。 (2)神様に遣わされた者としての確信を持つ。	▲神様は聖徒達が一致することを望んでおられる。 1)ヨハ 17:11(わたしはもう世にいません。彼らは世におりますが、わたしはあなたのみもとにまいます。聖なる父。あなたがわたしに下さっているあなたの御名の中に、彼らを保ってください。それはわたしたちと同様に、彼らが一つとなるためです) 2)ヨハ 17:21-23(それは、父よ、あなたがわたしにおられ、わたしがあなたにるように、彼らがみな一つとなるためです。また、彼らもわたしたちにおるようになるためです。そのことによって、あなたがわたしを遣わされたことを、世が信じるためなのです。またわたしは、あなたがわたしに下さった栄光を、彼らに与えました。それはわたしたちが一つであるように彼らも一つであるためです) (1)イエス様は聖徒が一つとなることを望んで祈られた。 (2)三位一体の神様(父:救いを計画、御子:救いの成就、聖霊:救いを信じれるようにしてくれ、共におられる) ー三位一体の神様を信じることで救われる。 (3)父、御子、聖霊の三位一体の神様は一つである。 ー三位一体の神が一つであるように聖徒も一つになるべき (4)聖徒が一つにならなければ、サタンの攻撃にあう (5)伝道は聖徒が一つになってこそ答えを受ける。 3)ヨハ 17:23(わたしは彼らにおり、あなたはわたしにおられます。それは、彼らが全うされて一つとなるためです。それは、あなたがわたしを遣わされたことと、あなたがわたしを愛されたように彼らをも愛されたことを、この世が知るためです) (1)キリストが聖徒の中に共におられる。 (2)キリストが私たちの主人となる時に信仰の成長がある。 (3)自分中心でなくキリストに全て委ねるように。 (4)全ての聖徒がキリスト中心になる時に聖徒が一つになる ー講壇の御言葉で一つになる事が出来る。 ▲結論 (1)キリストが祈った祈りは必ず答えられる。 (2)今もキリストが私たちの為に祈っている(ローマ 8:34) (3)神様の御座が私達に臨まれているー天使を遣わされる。 (4)祈る時に5つの力が与えられる。 (5)祈る時に聖霊が働き、御座の祝福が臨まれ、天使が派遣され、暗闇の力が打ち砕かれ、多くの人がキリストを信じる。 ーこのような恵みを思いながら祈ると楽しくなる。 (6)祈りの祝福を知りもっと多くの祈りをする者となれるように	

区域地教会(2019 年 3 月 17 日～2019 年 3 月 23 日)

【賛美】「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
2) イエスわが王よ ここに來られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス來られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより來たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】 「イエスキリストのお祈り」(ヨハネ 17:1-11)

【讚美】 482 しずけき祈り

【祈り】

①教会の祈りの課題

- ・元旦メッセージ(第 1、2、3 RUTC 実現「古い枠を壊すべき」(Ⅱコリ 5:17)・「新しい枠を整えるべき」(使 9:15)・「霊的に戦う教会(兵士・軍隊)」(エペ 6:10-20)
 - ・3 今日(御言葉、祈り、伝道)、3 弟子(秘密決死隊、レムナントミニストリー、Holy Mason)、3 サミット(霊的サミット、技能サミット、文化サミット)の契約を掴み成就を味わう。
 - ・御国イザヤ牧師に聖霊充滿と 5 つの力が与えられるように。
- ②区域地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。
③区域地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム】

【祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄

福音宣教教会 10の祈り題	(1)日本 1%福音化 (使 18 : 9-10 ・ ローマ 16 : 20) (2)第 2 の宗教改革 (マタ 16 : 16、Ⅰ ペテ 2 : 9) (3)日本 8,000 教会 (使 17 : 1-3) (4)200 地教会 (創 41 : 36—38) (5)1,000 大学 (福音の人材、福音エリート/使 19 : 9-10) (6)伝道(重職者)運動 (3 弟子/ローマ 16 章) (7)レムナント運動 (イザ 6 : 13 / 3 サミット) (8)癒しの運動 (使徒 19 : 8-20) (9)日本神学校、東日本神学校と教役者—Ⅱ列 6 : 8—23 (10)世界宣教 (マタ 24 : 14、使 1 : 8)	
伝道対象者		
お知らせ	1. 伝道師任命 : 藤井善次郎(防府)、及川久彦(盛岡) 2. 3/18(月)14:00 日本神学校学位授与式及び卒業式 3. 3/21(祝・木)-23(土) 浜松教会伝道キャンプ 4. 3/27(水)-29(金)日本 RT 大会 3/25(月)-27(水)リーダー修練会 5. 3/29(金)-31(主日) 呼吸いやし(名古屋教会) 6. 4/1(月)14:00 日本神学校入学式 7. 3/23(土) 切り株保育室卒園式 8. 大阪教会と磐田教会の購入、対馬教会の設立のために お祈りお願いします。	

福音宣教教会

主管牧師 : 御国イザヤ

名古屋市中区栄 5 丁目 23-8 / tel : 052-238-6003

主日(日曜)1 部礼拝 7:00 / 2 部礼拝 10:00 / 3 部礼拝 12:00